

# 「瀬戸歳時記」による陶磁器デザイン

## 1 はじめに

2005 年に開催される愛知万博に向け瀬戸産地のイメージの向上と新製品開発を目的にデザインをした。産地イメージとして、瀬戸産地の得意とする磁器素地や鋳込成形技術、ノベルティ的感覚を取り入れた。家庭で正月や誕生日などの祝い事、花見、ひな祭り、五月節句など四季折々の歳時記を演出できる意外性のあるイベント用食器として、弁当箱と箸置、茶器を組み合わせた。

## 2 デザイン開発とアイテム

### 2-1 弁当のイメージ

弁当箱の蓋を取るとき中にどんな料理が入っているか、期待感や楽しさがある。幼稚園から会社勤めに至るまで、人生の中で常に身の回りにあり、色々な思い出が詰まっている。

### 2-2 弁当箱の形状

目新しさや奇抜さをさげ、日頃見慣れた日本的なワッパ形、まゆ形、亀甲形、扇子形の四種の形状を試作した。蓋は磁器製と木製の二種類を作成した。成形は白磁素地を使用して、多様な形状に対応出来る圧力鋳込成形により瀬戸の産地技術を生かした。

### 2-3 弁当箱の絵模様

弁当箱の表面模様を、目的の歳時記に合わせるにより特化した商品開発を行った。



写真1 タンポポ弁当セット（ワッパ形）



写真2 菖蒲弁当セット（まゆ形）

春のタンポポ、シデコブシ、夏の五月節句や朝顔、露草を絵柄としてデザインし、季節感や歳時記を表現した。

### 2-4 箸置

食卓用品としては小物であるがノベルティ的要素が強く、楽しい雰囲気を作り出すのに有効な小道具である。うなぎ形箸置、朝顔形箸置、鯉のぼり形箸置、しでこぶし形箸置、亀甲形箸置、エンドウ形箸置、扇子形箸置を弁当箱や歳時記、季節に合わせて試作した。

### 2-5 茶器

旅行途中で駅弁を買い、汽車土瓶の蓋で一口ずつ飲む楽しい気分を食卓に持ち込んだもので、小振りの土瓶にした。形状は丸形と亀甲形とし、取っ手を蔓形とハンドル形のものを作った。表面模様は弁当箱と同じ草花をあしらった。

（瀬戸窯業技術センター 矢野 強）



写真3 シデコブシ弁当セット（亀甲形）



写真4 朝顔弁当セット（扇子形）

試作品の寸法 （単位：mm）

品名	タテ	ヨコ	高さ	深さ
ワッパ形弁当箱	124	194	52	42
まゆ形弁当箱	105	193	52	42
亀甲形弁当箱	137	195	52	42
扇子形弁当箱	117	214	52	42